市川市民野球大会運営規則

１．球場

国府台スポーツセンター野球場　：　Ａ級　・　Ｂ級　・　Ｃ級

江戸川河川敷１２号球場　：　Ｄ級

２．使用球

（財）全日本軟式野球連盟　公認球

３．大会ルール

２０１７年公認野球規則及び（財）全日本軟式野球連盟編集の競技者必携による。

４．競技運営に関する協会取り決め事項

（１）大会本部にチーム名を告げて打順表（協会指定用紙＝カーボン式４枚綴り）を受取、必要事項をすべて記入すること。

（２）打順表は、当日の第一試合のチームは試合開始予定時刻の３０分前迄に、第二試合以降のチームは前の試合の４回終了時に監督又は主将（両者不在の場合に限り、当該試合の責任者）が大会本部に提出し、登録原簿と照合の後、担当球審又は代理人の立会いのもと攻守を決める。

（注）打順表には当該試合の出場予定選手全員を記入すること。記入されていない選手は、原簿に登録されていても当該試合には出場できない。

（３）登録メンバーの変更は当該チームの最初の試合前までに、大会本部に届けること。その後の変更は認めない。

（４）試合開始時刻になっても試合の出来る状態でないチームは敗者とする。

（注）ユニホーム・スパイクは統一すること。

（５）シートノックは、日程の都合上行わない。

（６）ベンチは、抽選番号の若いチームを一塁側とし、攻守はトスで決める。

（７）試合の回数（イニング数）

①Ａ級・Ｂ級・Ｃ級・Ｄ級は全試合（含む決勝戦）７回戦とし、１回戦から準決勝戦までは試合に制限時間（１時間４０分）を設ける。制限時間は試合の状況により多少前後することがある。決勝戦には制限時間を設けないが、７回戦終了時、同点の場合は直ちに特別延長戦〔（１０）項参照〕を適用する。

②特Ａ級は全試合９回戦とする。特別延長戦の適用については〔（１０）項を参照〕。

（８）投手の投球練習球は、初回と投手交代のときは、７球以内で１分以内とし、２イニング目以降は４球いないとする。

（９）本体に於いて適用するコールドゲームは次のように定める。

①得点差によるコールドゲーム

７回戦の場合は４回以降１０点差及び５回以降７点差とする。

９回戦の場合は５回以降１０点差及び７回以降７点差とする。

②コールドゲームの得点の扱い（正式試合になる回数は５回とする）

（イ）協会では、すべて均等回の得点とする。

（ロ）７回戦、９回戦共に先攻チームが５回を終わった得点より、後攻チームの４回までの得点が多いとき。

（ハ）協会の特別規則として、（イ）（ロ）の条件に達する前でも、試合時間が１時間を経過した場合は、試合を成立とする。但し、中断時間を除く。

（注）（財）全日本軟式野球連盟編集の競技者必携「競技に関する連盟特別規則」に準ずる「正式試合（３）コールドゲームの得点の扱い　全て均等回の得点とする。」

（ニ）上記の条件以外は再試合とする。

・同点の場合　・１時間以内で中止となった場合

（１０）特別延長戦の適用

①７回戦の場合は７回終了時又は試合時間が１時間４０分を経過した後の後攻の攻撃終了時、９回戦の場合は９回終了した時に同点の場合特別延長戦に入る。この場合、継続打順とし、前回の最終打者を１塁走者とし、２塁、３塁の走者は順次前の打者とする。すなわち無死満塁の状態にして１回を行い、得点の多いチームを勝ちとする。

②勝敗が決しない場合は、さらに継続打順でこれを繰り返す。

③選手の交代は、通常の延長戦と同様に規則によって認められる。

（１１）次打者は次打者席で低い姿勢で待機し、バットスイングを行ってはならない。

（１２）打者はみだりに打席を外してはならない。この場合、球審はタイムをかけずに、投球に対して正規に「ボール」「ストライク」を宣告する。

（１３）攻守交代は、駆け足で行うこと。但し、投手に限り内野地域内は歩いてもよい。

（１４）投手が、捕手のサインを見るときは、必ずプレートについて見なければならない。

（１５）タイムの制限

①試合中、選手のスパイク紐の結び直しのタイムは認めない。

②タイムは、１分間を制限とする。但し、審判員が認めたときはこの限りではない。
③試合中の守備及び攻撃のタイム回数は、７回戦・９回戦共にそれぞれ３回を限度とする。

（１６）試合中の内野手間の送球は、１回を限度とし、試合開始後１時間を経過した場合は次の回から中止する。

（１７）本塁打の走者を迎える場合はベンチの前のみとする。

（１８）捕手のマスクは、全軟公認マスクを使用する。

（１９）捕手は障害防止のため、レガード・ヘルメット・ファールカップ及びプロテクターを必ず着用する。

（２０）打者、次打者、走者、コーチャー（１塁・３塁共）は必ずヘルメットを着用する。

（２１）試合に関する本部及び審判員の注意事項は、チーム全員に徹底させる。

（２２）チームのミーティングには、コーチャー・打者・次打者（低い姿勢で待つ）は参加せず定位置について待機すること。

（２３）ダックアウト前及び次打者席には、用具・物品等（ロージンは除く）を置かないこと。（バットリング・鉄棒の持ち込みは禁止）

（２４）試合中、選手はみだりにダックアウトを出ないこと。但し、２組までのキャッチボールは認める。

（２５）イニング終了時のボールは、必ず静かに投手板の後方に置くこと。

（２６）ロージンは使用後投げ捨てないで、必ず静かに投手板の後方に置くこと。

（２７）審判に対してアピールの出来るものは、監督又は主将と当該プレイヤーに限られる。

（２８）プレイヤー及び審判員に対する個人攻撃を厳禁する。審判員又は控審判員から注意されても改めないときは退場させられる。

（２９）投手が死球を与えたときは、打者に対して帽子を取り会釈をすること。

（３０）勝利チームは、試合終了後グランド整備を行うこと、又最終試合のチームはダッ

クアウト内を清掃すること。

（３１）試合前後のスタンドでの応援又は観戦時に出た飲食ゴミ等は、必ず球場外の所定場所に整理する。

（３２）チームの都合により試合に出場できない場合、参加量は返却しない。

（３３）雨天又は球場不良のため、試合を中止するときの連絡方法は下記のとおりとする。
①土曜日までの連絡は、当日の球場責任者より各チームの連絡担当者に通知する。
②日曜日（試合当日）の連絡は、各級とも市川市野球協会の責任者に確認すること。
電　　話　０８０－７８５６－９９８６又は０７０－４１６４－０６３３
連絡時間　午前７時００分～午前８時００分まで
③各チームからの連絡は、協会に登録の連絡者又はチーム責任者に限る。

（３４）試合日程の問い合わせについて
野球協会が国府台球場を使用している日にお問い合わせ下さい。
（注）球場の市民大会使用日程表は開会式にて配布します。
電　　話　０８０－７８５６－９９８６又は０７０－４１６４－０６３３
連絡時間　午前９時００分～午後３時００分まで

（３５）本規則に違反した場合、常任理事会及び理事会に於いて審査のうえ処分されることがある。

附則　この規則は平成２９年３月４日から施行する。

※お願い
各チームとも会則又は規約の作成をお願いいたします。（スポーツ保険の対象となる負傷をした場合に必要となります。）

昇降格に関する事項
（１）昇降格は役員会にて決定する。

（２）昇降格基準
①昇格
Ｂ級・Ｃ級・Ｄ級とも前年度の成績を評価し、役員会で討議して理事会で承認を得たチームが昇格する。
②降格
Ａ級・Ｂ級とも自チームの最初の試合で２年連続敗退したチーム。但し、マナー、技術、得点差（優勝、準優勝チームと対戦したとき）を考慮し、降格にしない場合もある。

市川市野球協会（市民野球大会）内規

《注》本内規は、市川市野球協会が主催する市川市民野球大会に於いてのみ適用します。

１．チーム編成等

（財）全日本軟式野球連盟規程細則　第３条「チーム編成は、監督を含む選手１０名以上２０名以内で編成しなければならない」は適用しない。

当協会では、試合当日のチーム編成は監督を含む選手９名以上２０名以内とする。

２．競技運営に関する注意事項

（財）全日本軟式野球連盟　競技者必携　６．「打順表（登録された者のうち、全員を記入したもの）の提出は、その日の第１試合は開始予定時刻の３０分前までに、第２試合以降は前の試合の５回終了時に監督又は主将が大会本部に提出し、登録原簿と照合の後球審立会いのもと攻守を決定する。」は適用しない。

当協会では、「打順表（登録された者のうち、全員を記入したもの）の提出は、その日の第１試合は開始予定時刻の３０分前までに、第２試合以降は前の試合の４回終了時に監督又は主将（両者不在の場合に限り、当該試合の責任者）が大会本部に提出し、登録原簿と照合の後球審立会いのもと攻守を決定する。